

https://farid.ps/articles/the_case_against_x/ja.html

マスクの下でのX：隠された政治的増幅、規制回避、そして民主的インフラの乗っ取り

2022年にイーロン・マスクがツイッターを買い取り、Xと改名したとき、彼は市民的美德の言葉でその買収を包み込みました：「デジタルな公共広場」であり、表現の自由が繁栄する場所だと。この枠組みは嘘でした。実際には、マスクはXを、不透明なアルゴリズム、収益化された影響力、そして透明性メカニズムの意図的な解体を通じて、政治的言説を積極的に歪めるプラットフォームに変えました。中立性を保つどころか、Xは隠された政治的推進のベクトルとなり、極右の物語や権威主義的同情に大きく偏っています。

欧州連合の規制当局は、研究者、ジャーナリスト、市民社会団体が長い間疑っていたことを確認しました：**Xは広告の透明性、政治的ラベリング、研究者へのアクセスに関する法的義務に違反している**。これらは小さな技術的違反ではありません。これらは**大規模な未申告の政治的影響**を可能にする構造的な決定です。マスクのプラットフォームは操作を許可するだけでなく、それから利益を得ており、有料アカウントの特権とアルゴリズム的インセンティブを利用して特定の政治的アクターを増幅し、その背後にある仕組みを隠しています。

このエッセイは明確な告発を提示します：**Xは未申告の政治的広告システムとして機能している**、EU法に直接違反し、英国や米国のキャンペーン透明性ルールにもおそらく違反しています。証拠は圧倒的で、動機は明らかであり、影響はグローバルです。

監督から不透明性へ：回避のパターン

マスクが支配権を握ってから数週間以内に、ツイッターのすでに脆弱なガバナンスは解体されました。**信頼と安全評議会**—外部の説明責任機関—は突然解散されました。ポリシーが書き直され、チームが縮小され、市民社会やジャーナリストのアクセスが制限されました。マスクの「表現の自由」のビジョンは、すぐに**彼のイデオロギー的アジェンダに一致する者への自由な統治**として明らかになりました。

同時に、マスクは**有料認証**を導入し、事実上可視性を収益化しました。青いチェックマークはもはや本物性のバッジではなく、アルゴリズム的優遇のチケットでした。認証されたアカウントしばしば政治的オペレーター、扇動者、またはプロパガンディストは配信が強化され、多くの場合、**プラットフォームの収益を共有し、財務的インセンティブを政治的メッセージに直接結びつけました**。

これはミスではありませんでした。それは**戦略的再設計**でした：安全装置を排除し、有機的と有料の言説の境界を曖昧にし、マスクの政治的同盟に奉仕するように推薦システムを武装化することです。

アルゴリズム操作は副作用ではない—ビジネスモデルである

Xの推薦システムは中立的な仲裁者ではありません。それは意図的に調整された政治的増幅器です。マスクの買収前に実施された内部調査は、ツイッターのタイムラインがすでに右翼コンテンツを不均衡に増幅していることを確認していました。マスクの下で、この不均衡はさらに深まっています。

2023年3月のXのオープンソースコードの公開は、単なる気晴らしに過ぎませんでした。ツイートのランキングのための骨組みを明らかにしたものの、重要な運用データを隠しました：リアルタイムのパラメータ変更、手動の上書き、有料ステータスの可視性への影響。公衆は依然として重要な変数にアクセスできません：誰が推進されているのか？誰が抑圧されているのか？そしてなぜか？

独立した監査から明らかなのはこれです：右翼、ナショナリスト、陰謀論に沿ったアカウントからの政治的コンテンツが「For You」フィードを支配している—特にこれらのアカウントが収益化または認証されている場合。事実上、Xは政治的リーチを売却しており、そのような取引が広告を構成することを否定しています。

これは推測ではありません。それは測定可能な偏見であり、複数の査読された研究やダミーアカウントを用いた実験によって裏付けられています。エンゲージメントがプラットフォームの組織原理になると、憤慨が勝ち、真理が負け、デマゴーグが繁栄します。

ダークパターン、偽の透明性、有料の政治的影響

EUによるXに対するデジタルサービス法（DSA）および2024/900政治広告に関する規制の下での暫定発見は非難すべきものです：

- Xはダークパターンと誤解を招くインターフェースデザインを通じてユーザーを欺いています。
- 機能的な広告リポジトリを維持できていない、有権者が誰がターゲットにしているかを知る権利を否定しています。
- 正当な研究者がシステム的リスクを監査するために必要なデータへのアクセスをブロックしています。

これらは偶然ではありません。これらは戦術です。Xは意図的にアクセスを制限しており、完全な透明性が有機的エンゲージメントとして偽装された協調的な政治的増幅を暴露することを知っています。

有料認証はこのスキームの中心です。認証されたアカウントはランキングでの優先待遇、収益共有の資格、リーチの拡大を享受します—そのコンテンツが誤情報、憎悪、または政治的プロパガンダを広める場合でも。この機能は、プラットフォームを効果的にイデオロギー的アクターのための有料メガフォンに変えます。

欧洲連合では、この行動は政治的広告、スポンサーの身元、ターゲティングのための機密個人データの使用の開示を要求する法律に直接違反しています。英国では、選挙法に基づくデジタルインプリント要件に反しています。米国では、FECおよびFTCのオンライン政治的コミュニケーションと誤解を招くマーケティングに関する規制の違反に危険なほど近づいています。

イーロン・マスクは中立的な観察者ではない—彼は政治的歪曲の建築家である

2024年までに、マスクはドナルド・特朗普を公に支持し、プラットフォーム上で極右の人物をホストし、企業ポリシーの名目で直接政治的メッセージングに従事していました。これらはさりげない支持ではありません—これらはプラットフォーム所有者による選挙言説への物質的介入です。

プラットフォームポリシー、エンジニアリング設計、収益インセンティブの制御により、マスクはシステムを傾けて政治的同盟者を報酬し、反対意見を抑圧することができます。その結果はフィードバックループです：彼の見解を称賛するか、最大のエンゲージメントを引き起こす者はトップに昇ります；他は埋もれるか収益化を剥奪されます。

これは危険なだけではありません—それはコードに組み込まれた構造的偏見です。「表現の自由」についてのどんなポーズも、億万長者が政治的可視性のインフラを支配するときの利益相反を隠すことはできません。

法的ラインは越えられた

EUでは、「政治的広告」の閾値は明確です：有料または物質的に支援された政治的コンテンツの拡散は、ラベル付け、保存、監査可能でなければならない。Xはこれら3つの義務を無視しています。

政治的広告の透明性とターゲティングに関する規制（2024/900）は、Xが体系的に無視している開示を要求します。デジタルサービス法は、Xのような非常に大きなプラットフォームに対し、検証された研究者にアクセスを許可し、信頼できる広告リポジトリを維持することを要求します。Xはこれらのルールに挑戦しています—そして規制当局はすでにそれらを執行するため行動しています。

英国では、2022年選挙法はデジタルインプリントを要求します—政治的メッセージに責任を持つ者を特定すること。Xの現在の設定—有料アカウントがラベル、資金開示、またはターゲティングの透明性なしで政治的メッセージを推進する—isこの法律を嘲笑します。

米国では、FECとFTCは明示的な擁護と誤解を招くマーケティングに対する管轄権を持っています。プラットフォーム所有者による有料の可視性、収益化、アルゴリズム操作は精査から免除されません。まだ執行措置が取られていない唯一の理由は、プラットフォームのロビー活動と法的曖昧さによって生み出された規制の真空であり、法的無罪ではありません。

証拠は存在する—Xはあなたに見せたくないだけ

重要な記録が存在します。それらには以下が含まれます：

- 内部コミュニケーション、政治的コンテンツがどのように処理、ランク付け、収益化されるかを詳述する。
- 請求およびスポンサーシップ記録、誰がどのリーチのために支払ったかを示す。
- アルゴリズム変更ログおよび上書きレポート、誰がいつ推進されたかを明らかにする。
- 広告リポジトリデータ、法律に従い、政治的キャンペーン、スポンサー、ターゲティング戦略を開示すべきもの。

Xはそれらを提供することを拒否しています—それらが存在しないからではなく、**それらがプラットフォームが未申告の政治的広告システムとして動作していることを証明するからです。**

開示を強制するためのすべての規制ツールが存在します。EUはすでにそれらを使用しています。米国と英国はそれに続くべきです。

言い訳はもう通用しない

- 「私たちはアルゴリズムをオープンソースにしました。」 → 誤り。コードの公開は不完全で時代遅れです。重要な重み、ポリシー、ライブ介入は隠されたままです。
- 「エンゲージメントはイデオロギー的ではありません。」 → 無関係。エンゲージメントを最大化するシステムは、構造的に極端で、部族的で、しばしば右翼のコンテンツを優先します。これは政治的結果を伴う設計上の選択です。
- 「アルゴリズムに対する法律はありません。」 → 誤解を招く。**未申告の政治的影響、不透明な広告システム、有料コンテンツについてユーザーを欺く**プラットフォームに対する法律があります。Xはこれら3つすべてに違反しています。

これは議論ではない—民主的緊急事態である

政治的言説が問題ではありません。**未申告の政治的言説の操作**が問題です。プラットフォームが誰が話しているか、誰が支払っているか、可視性がどのように設計されているかを隠すとき、民主的言説の基盤は崩壊します。

Xは透明性のテストに失敗するだけでなく、**それを積極的に損ないます**。そのシステムは**有機的バイラリティと有料プロパガンダ**の境界を曖昧にし、そのリーダーシップは混乱から政治的および財務的に利益を得ています。

これはもはやプラットフォームポリシーの問題ではありません。これは**法的責任と民主的存続**の問題です。

結論：Xに対する訴訟

Xは未申告の政治的広告エンジンとして動作しています。影響力を売り、スポンサーシップを隠し、監視を無効化し、所有者のイデオロギー的および財務的利益に最も奉仕するコンテンツを報酬します。

法的義務は明確です。違反は文書化されています。結果は莫大です。

表現の自由についての議論だと偽るのをやめる時が来ました。規制当局が行動を起こし、市民が政治的現実を形作るプラットフォームが政治的法律に従うことを要求する時が来ました。

これはバグではありません。これは計画です。